

エドガー・ドガ《浴槽の女》1891年頃 パステル、カルトン



クロード・モネ《セーヌ河の朝》1897年 油彩、カンヴァス



藤島武二《音楽六題(鼓)》1901-06年 水彩、紙

観覧料

一般: 1,500 (1,300)円

高大生: 1,000 (800)円

小中学生: 無料

\* ( )内は前売り・20人以上の団体料金

\* 心身に障がいのある方と付添者1名は無料

\* 前売券取扱い場所: ローソンチケット、セブンチケット、ポみっと!、青森県内各プレイガイド

\* 前売券は5月17日(木)まで販売

【交通案内】

●JR新青森駅から車で約10分

●JR青森駅から車で約20分

●青森空港から車で約20分

●東北縦貫自動車道青森I.Cから車で約5分

[八戸方面から]青森自動車道

青森中央I.Cから車で約10分

●青森市営バス青森駅前6番バス停から三内丸山遺跡行き「県立美術館前」下車(所要時間約20分)

●ルートバスねぶたん号JR新青森駅東口バス停から「県立美術館前」下車(所要時間11分)

青森県立美術館

AOMORI MUSEUM OF ART

【お問い合わせ】

絵画の絆フランスと日本展実行委員会(青森県立美術館内)

〒038-0021 青森市安田字近野185 Tel.017-783-3000

WEB: <http://www.aomori-museum.jp>



巨匠55人大集結。  
フランスと日本の近代名画の絆がここに!

東奥日報創刊130周年・青森放送創立65周年記念

絵画の絆「フランスと日本」展

モネ、ドガ、ピカソから大観まで —ひろしま美術館コレクション—

Dialogues through Paintings, Between France and Japan

From the Hiroshima Museum of Art Collection

2018. 5月18日(金) — 7月8日(日)

開館時間: 9時30分~17時(5月31日まで) / 9時~18時(6月1日から) \*入館は閉館の30分前まで 休館日: 6月11日(月)

主催=絵画の絆フランスと日本展実行委員会 [東奥日報社、青森放送、青森県立美術館]

共催=東奥日報文化財団

特別協力=公益財団法人ひろしま美術館

協力=共同通信社、青い森鉄道株式会社、JR東日本青森商業開発、弘南バス

後援=NHK青森放送局、青森ケーブルテレビ、青森県教育委員会

特別協賛=青森銀行、みちのく銀行、青い森信用金庫、三八五流通グループ、東北電力

東奥日報創刊130周年と青森放送創立65周年を記念し、ひろしま美術館の収蔵品(コレクション)の中から印象派を中心とするフランス近代美術、日本の近代洋画と日本画の優れた作品を紹介する展覧会を行います。

ひろしま美術館は平和への願いを込めて、「愛とやすらぎのために」をテーマに、1978(昭和53)年に開館した美術館です。本展はひろしま美術館コレクションの中からモネ、ルノワール、ドガなどの印象派やエコール・ド・バリの作品群、そしてフランス近代絵画の影響のもと花開いた黒田清輝以降の日本近代洋画、横山大観や上村松園らの日本画作品を「農村」「人体」「風景」などをキーワードに選び紹介するものです。本展は近代フランスと日本の「傑作」「至宝」と呼ばれる芸術作品の魅力を余すところなく伝え、それらが時代や場所を越えて輝き続けるものであることを知る機会となることでしょう。

【出品作家】

ドガ、クールベ、コロー、ルノワール、モネ、セザンヌ、スーラ、デュフィ、ブラック、ルオー、マティス、ピサロ、シニャック、ピカソ  
 黒田清輝、佐伯祐三、藤島武二、小出楢重、梅原龍三郎、竹内栖鳳、竈木清方、上村松園、村上華岳、横山大観、下村観山、加山又造  
 他 総勢55名!

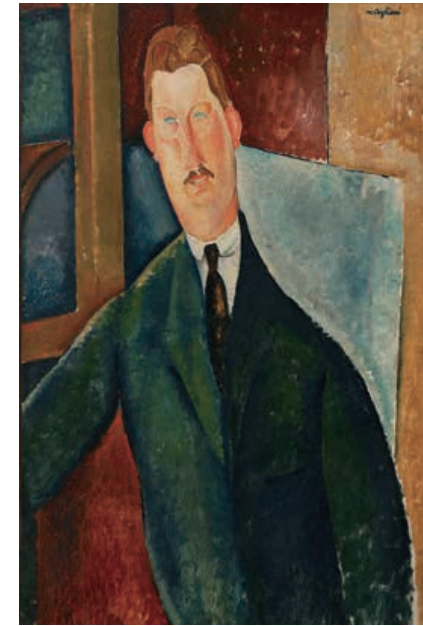


アンリ・マティス 《ラ・フランス》1939年 油彩、カンヴァス



© 2017 - Succession Pablo Picasso - SPDA (Japan)

パブロ・ピカソ 《女の半身像(フェルナンド)》1909年 油彩、カンヴァス



アメデオ・モディリアーニ 《男の肖像》1919年 油彩、カンヴァス



ピエール・ボナール 《白いコルサージュの少女(レイラ・クロード・アネ嬢)》1930年 油彩、カンヴァス



ポール・セザンヌ 《曲がった木》1888-90年 油彩、カンヴァス



ジャン＝フランソワ・ミレー 《羊の毛刈り》1862年 油彩、カンヴァス  
(コクヨ株式会社寄託作品)



ポール・シニャック 《ボルトリュエ、グルヴロ》1888年 油彩、カンヴァス



ポール・ゴーギャン 《ボア・ダムールの水車小屋の水浴》1886年 油彩、カンヴァス



オーギュスト・ルノワール 《パリの審判》1913-14年頃 油彩、カンヴァス



上村松園 《花見の図》1907年頃 絹本、軸



黒田清輝 《白き着物を着せる西洋婦人》1892年 油彩、カンヴァス



岸田劉生 《支那服を着た妹照子像》1921年 油彩、カンヴァス



岡 鹿之助 《積雪》1935年 油彩、カンヴァス

© 岡嘉智



下村観山(左隻)/横山大観(右隻) 《松鶴》紙本、屏風

【関連企画】

- ① 記念講演会  
 第1回 5月19日(土) 14時~15時30分  
 演題:「ひろしま美術館コレクションについて(仮題)」  
 講師:古谷可自由(ひろしま美術館学芸部長)  
 会場:青森県立美術館シアター  
 聴講無料
- 第2回 6月9日(土) 14時~15時30分  
 演題:「日本とフランス:美意識の東西」  
 講師:高階秀爾(美術史家、大原美術館館長)  
 会場:青森県立美術館シアター  
 聴講無料

- ② 学芸員によるギャラリートーク  
 5月26日(土)・6月16日(土) 各日14時から30分程度  
 参加方法:時間までに地下2階・企画展示室入り口にお越しください。  
 参加無料。ただし本展観覧券が必要です。

\*その他にも関連企画を準備中。詳しくは美術館ウェブサイト等をご参照ください。